

eBASE株式会社

2016年3月期第2四半期 決算と事業報告

2015年11月

目次

I. 決算概要

■ 第2四半期連結売上高の推移	・ ・ ・ ・ ・ P4
■ 第2四半期経常利益の推移	・ ・ ・ ・ ・ P5
■ 第2四半期連結業績の推移	・ ・ ・ ・ ・ P6
■ 第2四半期連結貸借対照表	・ ・ ・ ・ ・ P7

II. 事業の概況

■ 第2四半期セグメント毎の概況/eBASE事業	・ ・ ・ ・ ・ P9
・ 種類別販売実績の推移	・ ・ ・ ・ ・ P10
・ 業界別売上実績の推移	・ ・ ・ ・ ・ P11
・ 食品業界FOODS 今期施策とその進捗	・ ・ ・ ・ ・ P12
・ 日雑業界GOODS 今期施策とその総括	・ ・ ・ ・ ・ P13
・ 2016年3月期 その他ソリューション別施策と進捗	・ ・ ・ ・ ・ P14
■ 第2四半期セグメント毎の概況/ eBASE-PLUS事業	・ ・ ・ ・ ・ P15
■ 2016年3月期の連結業績予想	・ ・ ・ ・ ・ P16
■ 通期の資本状況（資産、ROE及びROA等）の推移	・ ・ ・ ・ ・ P17

2016年3月期第2四半期決算概況 (2015年4月～2015年9月)

I. 決算概要

eBASE事業

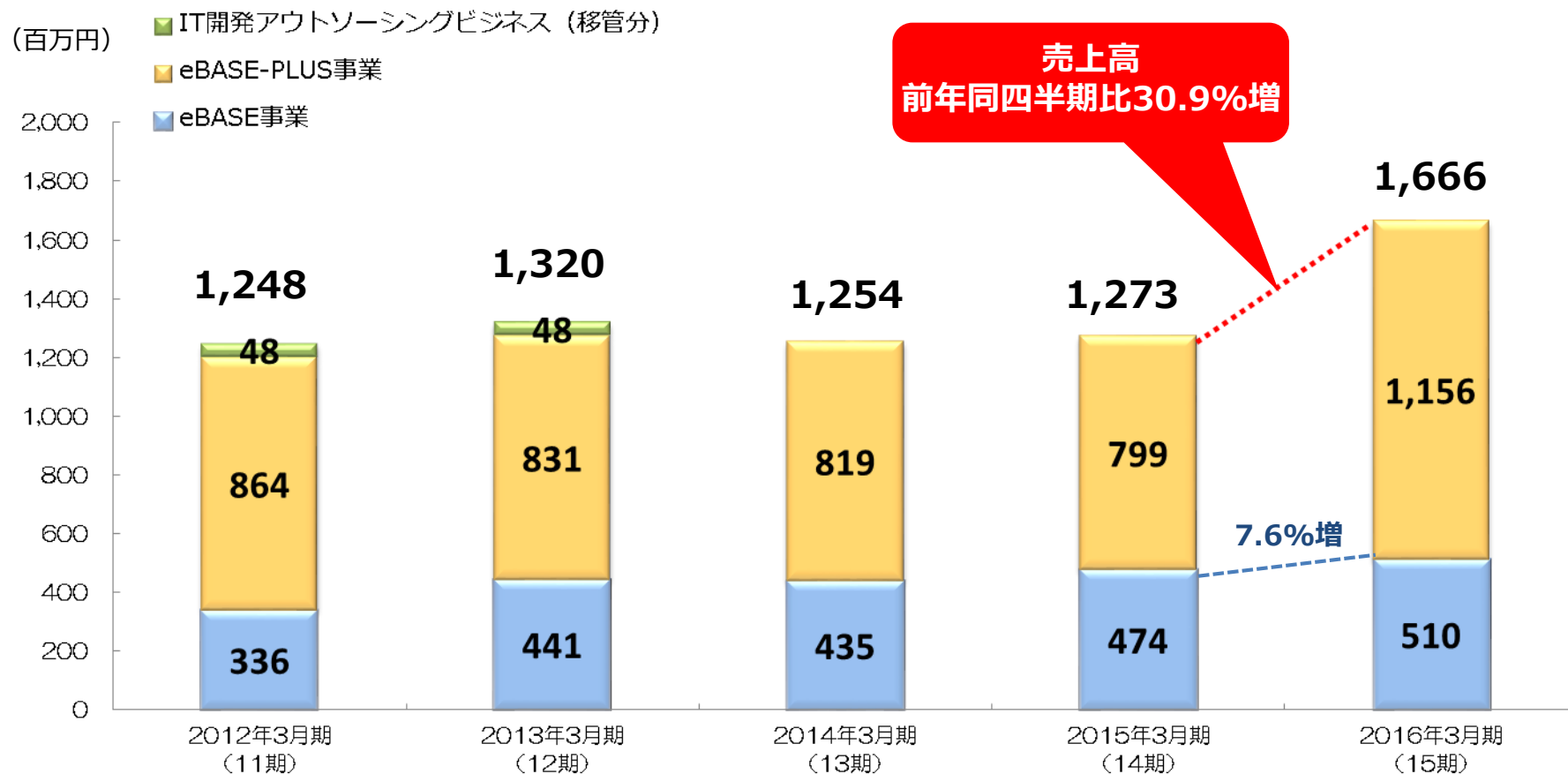
eBASE事業は、様々な業界ニーズ（食品・工具・住宅・日雑業界等）に向けた統合商品情報管理パッケージソフトウェアを自社開発し、**オンプレミスやクラウドサービス**によって顧客へ提供する利益指向型の事業モデルです。

又、コンテンツマネジメントシステム（CMS）やマスターデータマネジメントシステム（MDM）の**開発環境ミドルウェア**として幅広い用途での活用にも展開しています。更に、Webソリューションビジネスとして、顧客企業のWebホームページ等の受託型の企画制作、構築・運用も推進しております。

eBASE-PLUS事業

eBASE-PLUS事業は、顧客企業ニーズに応えたシステム構築・開発・サポート等の売上指向型の「**IT開発アウトソーシングビジネス（外部委託）**」の事業モデルです。

I. 第2四半期連結売上高の推移

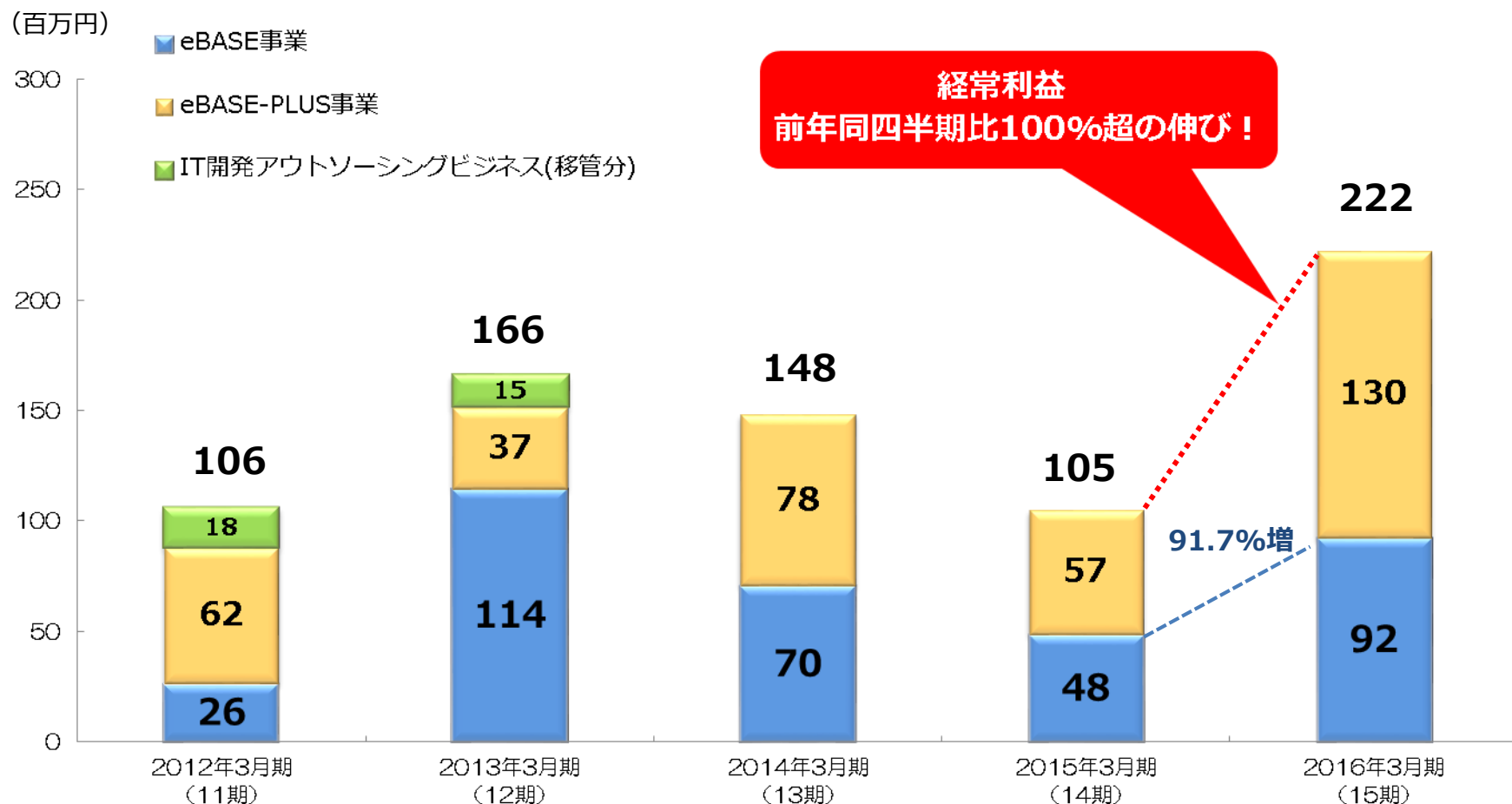


注1) セグメント間取引については、相殺消去しております。

注2) 2013年3月期 (第12期) 第3四半期よりeBASE事業の「IT開発アウトソーシングビジネス」をeBASE-PLUS(株)に移管を行っております。

注3) 2015年3月期 (第14期) 第4四半期より九州部門の事業譲受を行っております。

I. 第2四半期連結経常利益の推移



注1) セグメント間取引については、相殺消去しております。

注2) 2013年3月期(第12期)第3四半期よりeBASE事業の「IT開発アウトソーシングビジネス」をeBASE-PLUS(株)に移管を行っております。

注3) 2015年3月期(第14期)第4四半期より九州部門の事業譲受を行っております。

I. 第2四半期連結業績の推移

(単位：百万円)

	2012年3月期 (第11期)	2013年3月期 (第12期)	2014年3月期 (第13期)	2015年3月期 (第14期)	2016年3月期 (第15期)
売 上 高	1,248	1,320	1,254	1,273	1,666
(eBASE事業)	(336)	(441)	(436)	(473)	(510)
(IT開発アウトソーシングビジネス (移管分))	(48)	(48)	(-)	(-)	(-)
(eBASE-PLUS事業)	(865)	(857)	(821)	(799)	(1,156)
(セグメント間取引)	(△1)	(△26)	(△3)	(△0)	(△0)
営業利益	91	160	146	101	225
経常利益	106	166	148	105	222
(eBASE事業)	(26)	(114)	(71)	(48)	(92)
(IT開発アウトソーシングビジネス (移管分))	(18)	(15)	(-)	(-)	(-)
(eBASE-PLUS事業)	(62)	(37)	(77)	(57)	(130)
(セグメント間取引)	(△0)	(△0)	(△0)	(△0)	(△0)
親会社株主に 帰属する当期 純利益	61	99	89	66	141

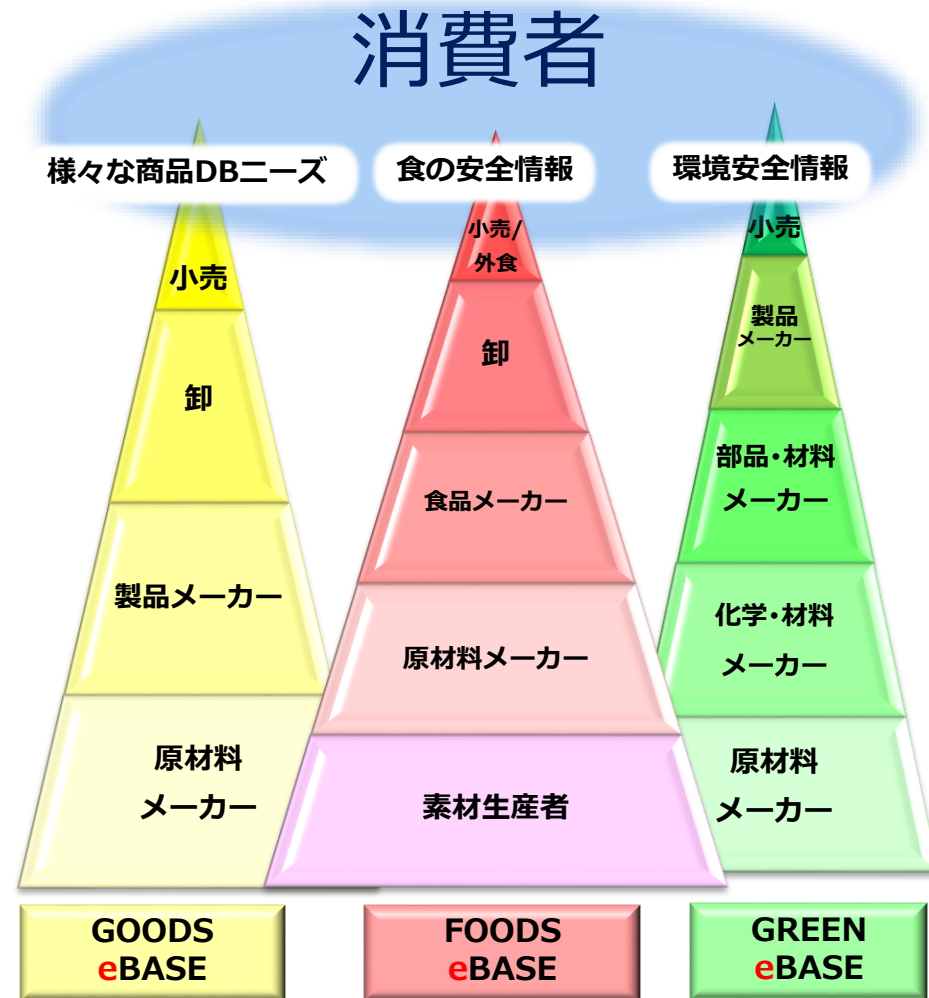
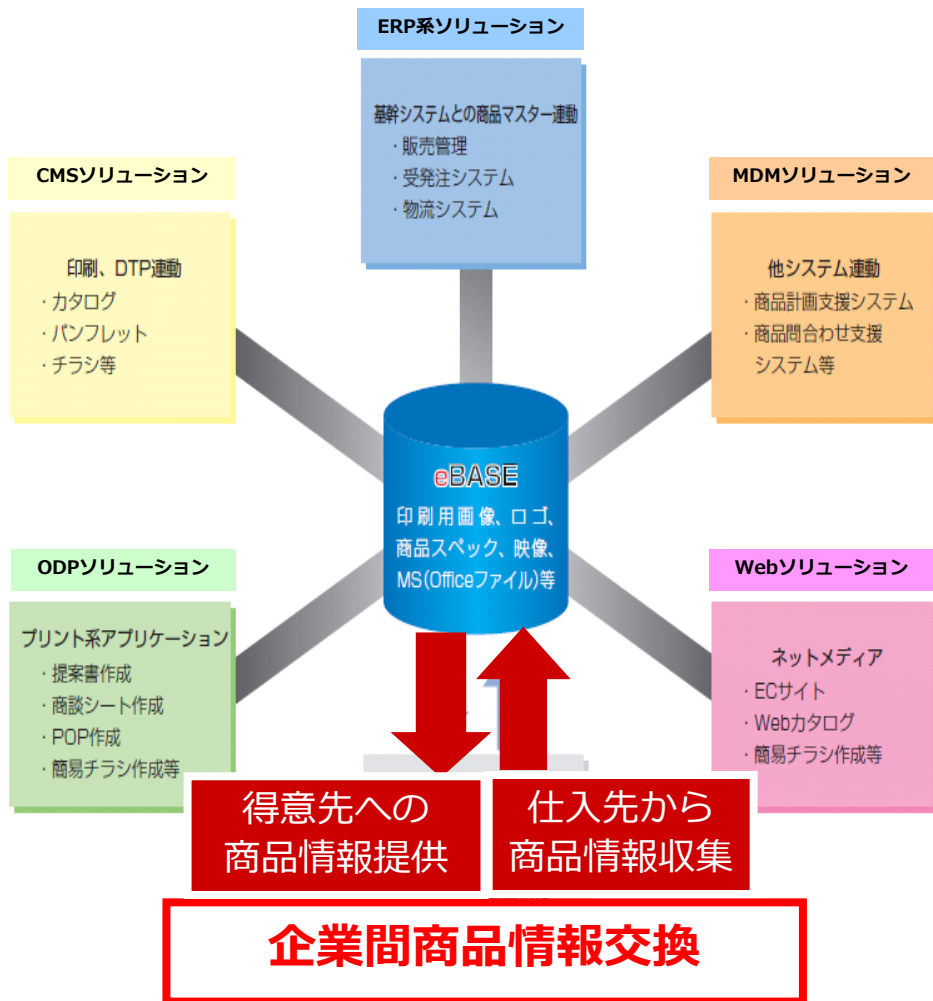
I . 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期 (2015年3月末)	当期 (2016年9月末)	前期末比	
流動資産	1,350	1,163	△187	現金及び預金 + 31 受取手形及び売掛金△219
固定資産	1,082	1,179	97	
(有形+無形資産)	(34)	(30)	(△4)	のれん△7
(その他)	(1,048)	(1,149)	(101)	投資有価証券 + 105
資産合計	2,433	2,342	△91	
流動負債	424	262	△162	未払法人税等△55
固定負債	-	-	-	
負債合計	424	262	△162	
株主資本合計	2,001	2,068	66	利益剰余金 + 58 (配当金支払△82) (親会社株主に帰属する四半期純利益の計上+141)
新株予約権	7	10	2	
純資産合計	2,009	2,080	70	
負債・純資産合計	2,433	2,342	△91	

Ⅱ．事業の概況

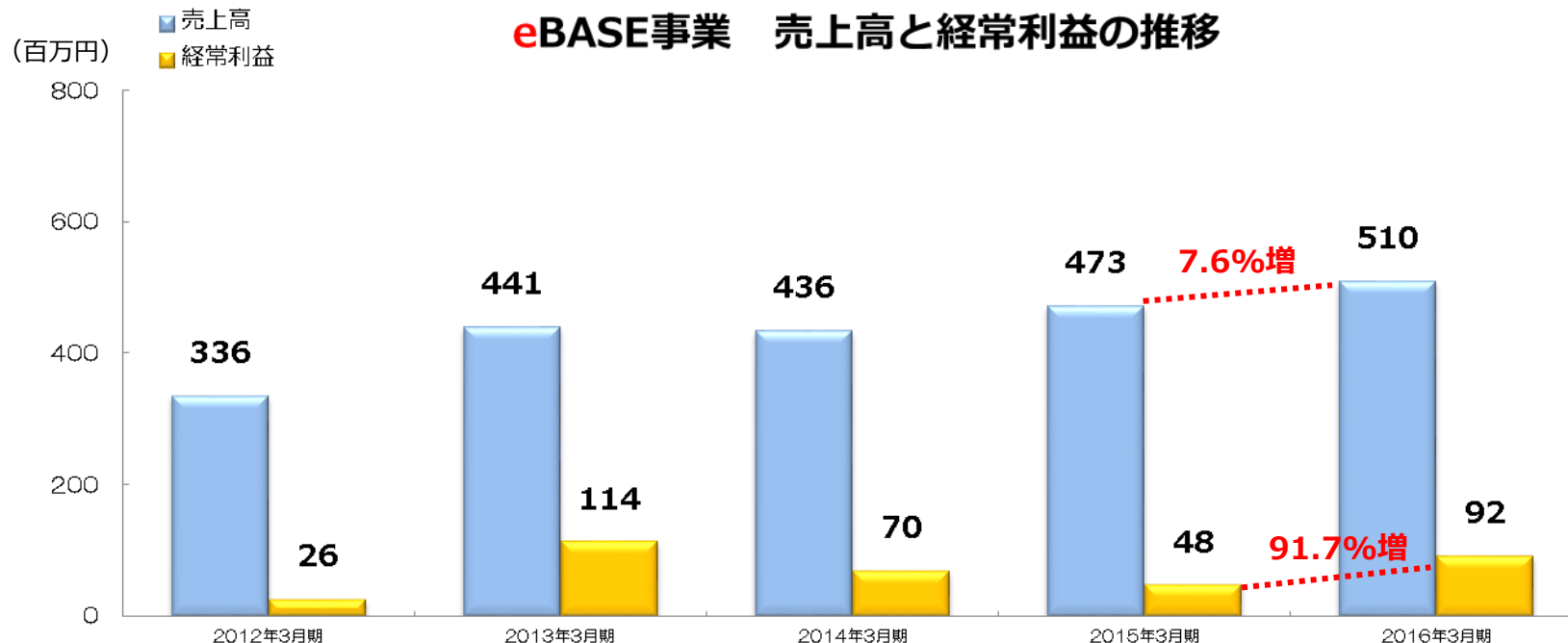
eBASE事業のポジショニングと業界別の商品DB交換ビジネスモデル



Ⅱ. 第2四半期セグメント毎の概況/eBASE事業

eBASE事業（パッケージソフトビジネス）

eBASE事業 売上高と経常利益の推移

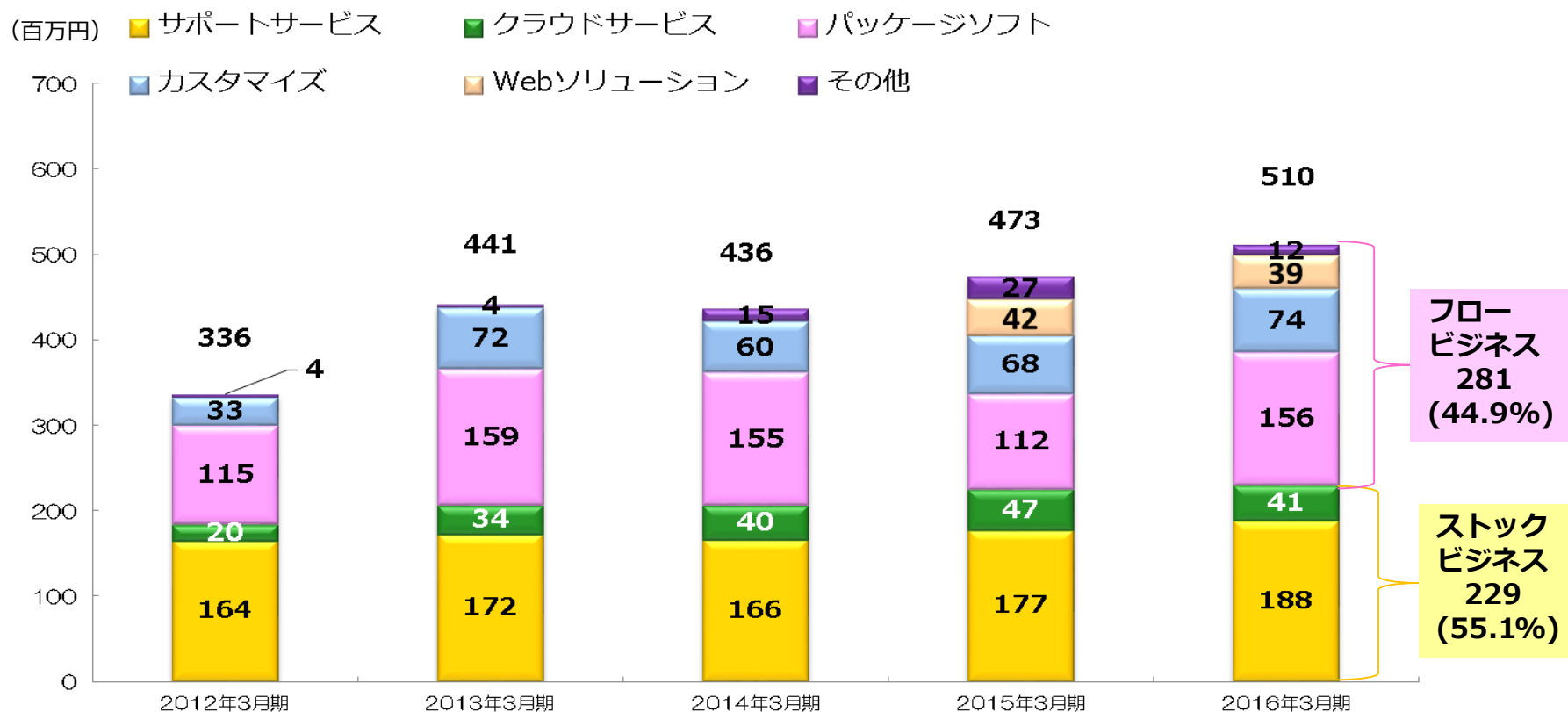


総括

- ・ 重点事業領域に適合した製品開発をタイムリーに行うために積極的に開発投資に努めました。
- ・ 商品情報交換のプラットフォームとしては業界毎に全体最適化の普及、標準化は順調に進行しております。

Ⅱ. 第2四半期セグメント毎の概況/eBASE事業

種類別販売実績の推移



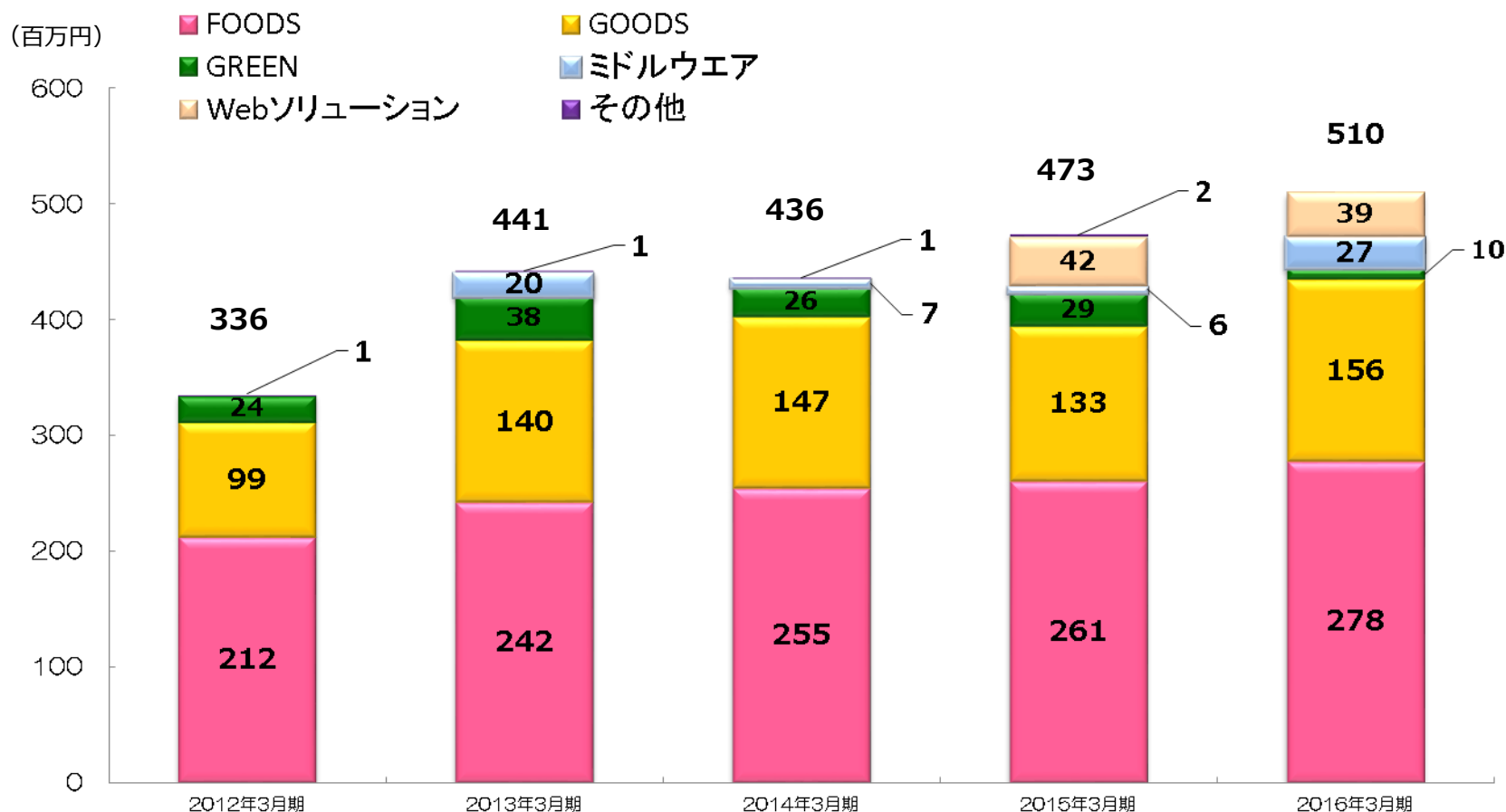
注1) 2013年3月期 第3四半期よりeBASE事業の「IT開発アウトソーシングビジネス」をeBASE-PLUS(株)に移管しております。

注2) 2013年3月期以前の「IT開発アウトソーシングビジネス」については、除いています。

注3) 種類別販売実績について、2016年3月期より一部クラウドサービスの計上方法を変更しております。また、変更に伴い2015年3月期以前の計上方法も変更したと仮定して算定しております。

Ⅱ. 第2四半期セグメント毎の概況/eBASE事業

業界別売上実績の推移



注1) 2013年3月期 第3四半期よりeBASE事業の「IT開発アウトソーシングビジネス」をeBASE-PLUS(株)に移管しております。

注2) 2013年3月期以前の「IT開発アウトソーシングビジネス」については、除いています。

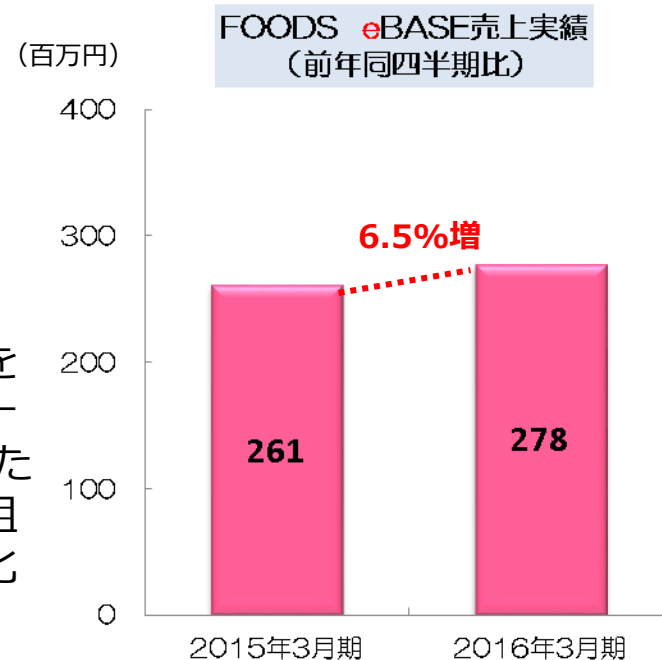
Ⅱ. 第2四半期セグメント毎の概況/eBASE事業

食品業界FOODS 今期施策とその進捗

概要

食品業界向け統合商品情報管理データベース

「FOODS eBASE」は、適正な食品表示、食の安全や安心を実現すべく、生産から流通までのサプライチェーン全体で一貫した食品の商品情報共有が可能です。法令遵守に基づいた消費者への正確な品質表示が行え、食の安全安心への取り組みが正確にスムーズに行え、且つ、管理業務を大幅に効率化できる食品関連企業向け業務パッケージソフトです。



2016年3月期 施策

- ・売上計画値(2Q) : 310百万円
- ・現事業モデルの推進
- ・クラウド&ストックビジネスの推進
「NBセンター」のデファクト化を
継続推進と販促強化
- ・eB-PointServiceの継続推進

その進捗

- ・売上実績(2Q) : 278百万円
(計画比 : $\Delta 10.3\%$ 前年同四半期比 : $+6.5\%$)
- ・eBASE商品情報交換の普及によりニーズが底堅く推移
- ・機能強化やユーザビリティ向上開発を行うと共に段階的リリースに努める
- ・食品表示法対応機能を段階的にリリースしたものの、一部案件で検収遅れが発生

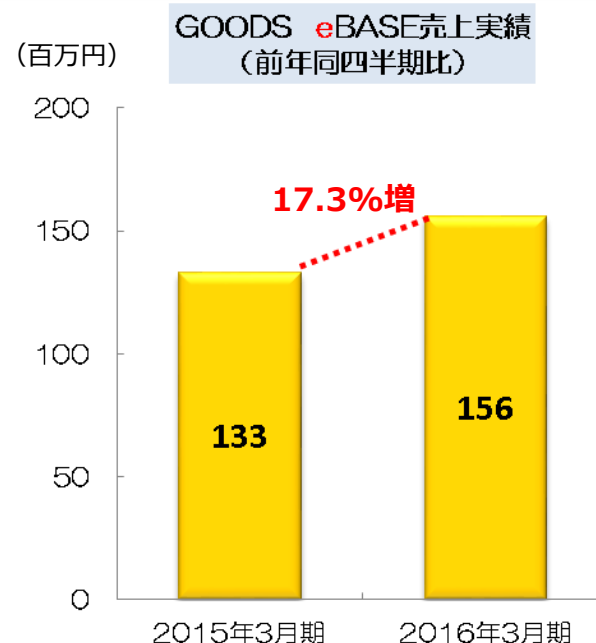
Ⅱ. 第2四半期セグメント毎の概況/eBASE事業

日雑業界GOODS 今期施策とその進捗

概要

統合商品情報管理データベース

「GOODS eBASE」は、あらゆる業界の商品情報管理を一元管理できるコンテンツマネジメントシステムです。文字・画像・図形情報等を含む商品マスタや仕様書管理が可能な業務パッケージソフトです。日用品や工具、文具、アパレル、住宅部品や自動車部品など、あらゆるジャンルの商品情報を管理し、効率的な商品情報収集・管理・配信環境の構築が可能です。



2016年3月期 施策

- ・売上計画値(2Q) : 175百万円
- ・特化した業界(工具業界・住宅業界・日雑業界等)への攻略アプローチを継続
- ・受託開発型商品DBでデファクト獲得の推進
- ・スマホ、タブレット対応での「ミドルウェアeBASE」の機能強化

その進捗

- ・売上実績(2Q) : 156百万円
(計画比 : $\Delta 10.9\%$ 前年同四半期比 : $+17.3\%$)
- ・工具業界への攻略アプローチを継続
- ・業界共通の課題解決に向けたeBASE利用の拡販に努める
- ・「eB-goods(Q)」の多言語対応版をリリース
- ・スマホ、タブレットの普及で商品情報管理やコンテンツ管理での引き合い増加傾向にあるものの、一部案件で検収遅れが発生

Ⅱ. 第2四半期セグメント毎の概況/eBASE事業

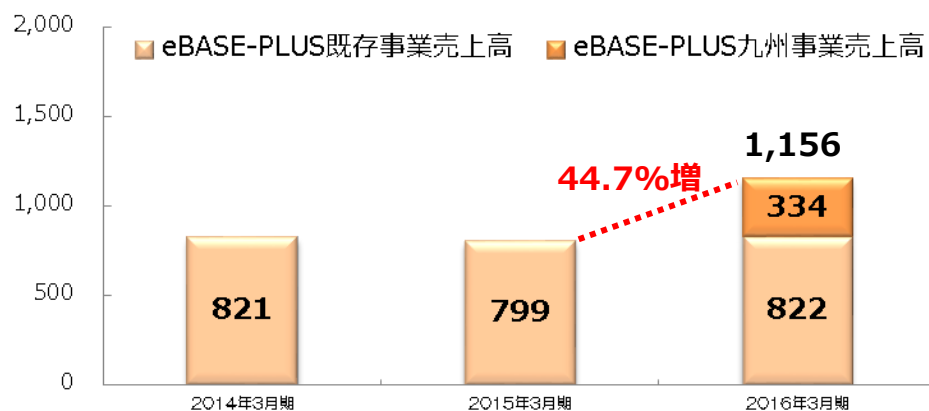
2016年3月期 その他ソリューション別施策とその進捗

業界	2016年3月期 施策	その進捗
eBASE ミドルウェア	・ パートナー企業の開拓 ・ 「ミドルウェアeBASE」を利用した受託開発案件の受注促進を推進 ・ 新市場創造 (基幹系システム市場)	・ 売上実績(2Q) : 27百万円 ・ CMS開発プラットフォーム「ミドルウェアeBASE」の機能強化を継続 ・ パートナー企業開拓の継続推進 ・ 中堅企業向け業務ソリューションの機能強化に努める ・ 設計開発支援ツール「eB-script (E/L)」をリリース
Webソリューションビジネス	・ 売上計画値(2Q) : 50百万 ・ eBASEミドルウェアと連携したソリューション事業への転換を推進	・ 売上実績(2Q) : 39百万円 (計画比 : $\Delta 22.0\%$ 前年同四半期比 : $\Delta 7.1\%$) ・ 顧客へeBASE環境開発及び提供に努める ・ 既存顧客への継続案件の受注・進捗が低調だったことにより売上ダウン
その他	・ GREEN eBASE採用企業からの「ミドルウェアeBASE」を利用した深耕営業を推進	・ 売上実績(2Q) : 10百万円

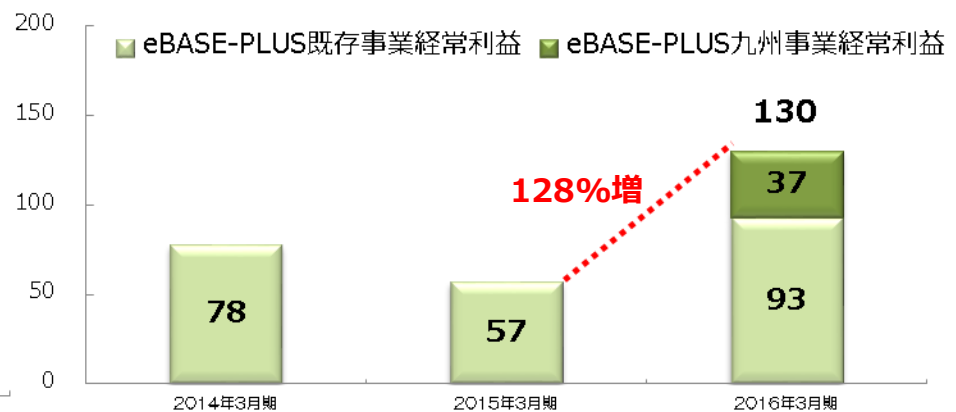
Ⅱ. 第2四半期セグメント毎の概況/eBASE-PLUS 事業

eBASE-PLUS事業（IT開発アウトソーシングビジネス）

（百万円） 売上高の推移



（百万円） 経常利益の推移



総括

注1) 連結でのセグメント間取引については、相殺消去しておりません。
 注2) 2015年3月期 第4四半期より九州部門の事業譲受を行っております。

2016年3月期 施策

- ・ 売上計画値（2Q）：1,110百万円
- ・ 既存IT開発アウトソーシングビジネスの維持
- ・ 安定衰退モデルから低成長モデルへの転換策検討
- ・ 改正労働派遣法対応でBP減少、正社員対応化
 ※BP：ビジネスパートナー（外部委託）
- ・ M&A案件の推進

その進捗

- ・ 売上実績（2Q）：1,156百万円
 （計画比：+4.1% 前年同四半期比：+44.7%）
- ・ 顧客ニーズに沿った技術者キャリアアップ研修のより一層の充実を図る
- ・ 新中途採用及び新規採用の育成・確保・継続に努める
- ・ 九州事業の貢献及び、技術者派遣の高稼働率の維持、契約単価等の条件改善により売上増加

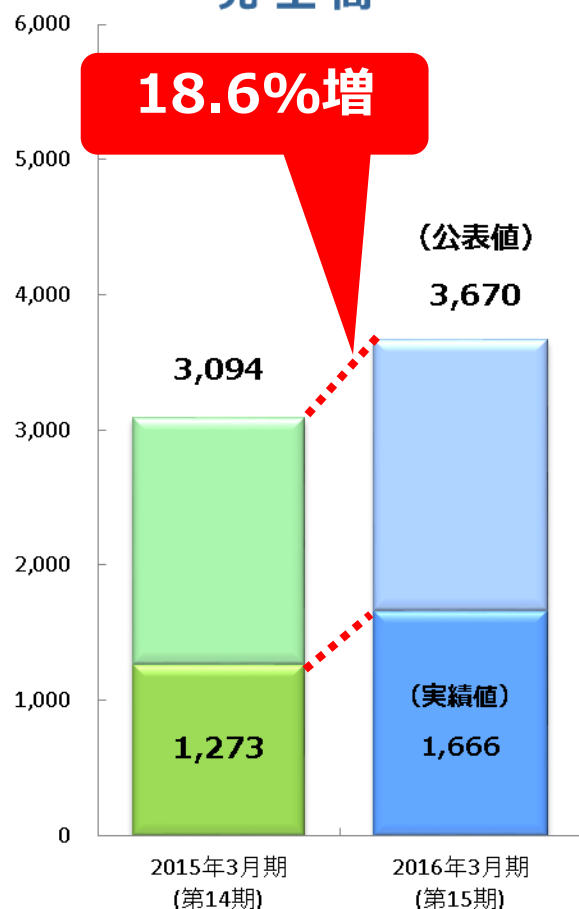
Ⅱ. 2016年3月期の連結業績予想

- 2016年3月期(通期)
- 2016年3月期(第2四半期(累計))
- 2016年3月期(第1Q実績)
- 2015年3月期(通期)
- 2015年3月期(第2四半期(累計))

(百万円)

売上高

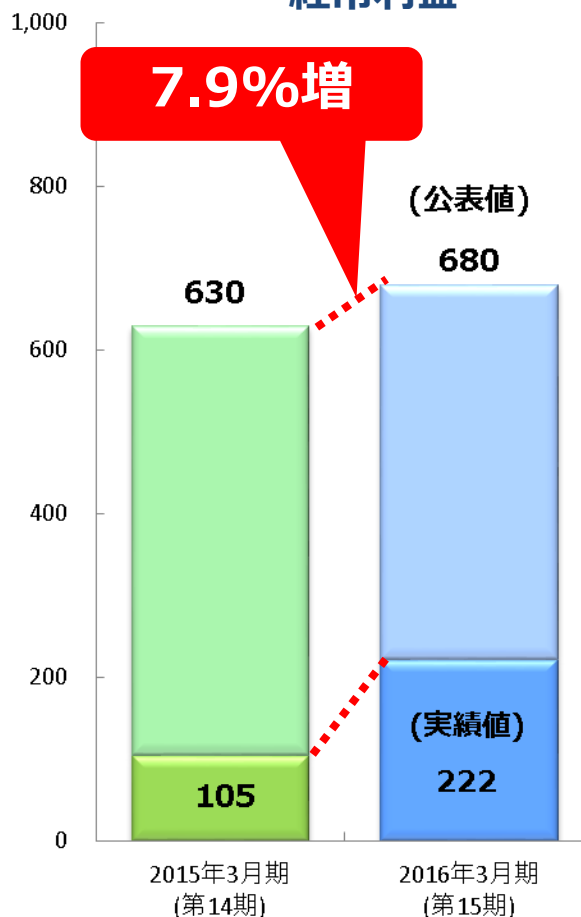
18.6%増



(百万円)

経常利益

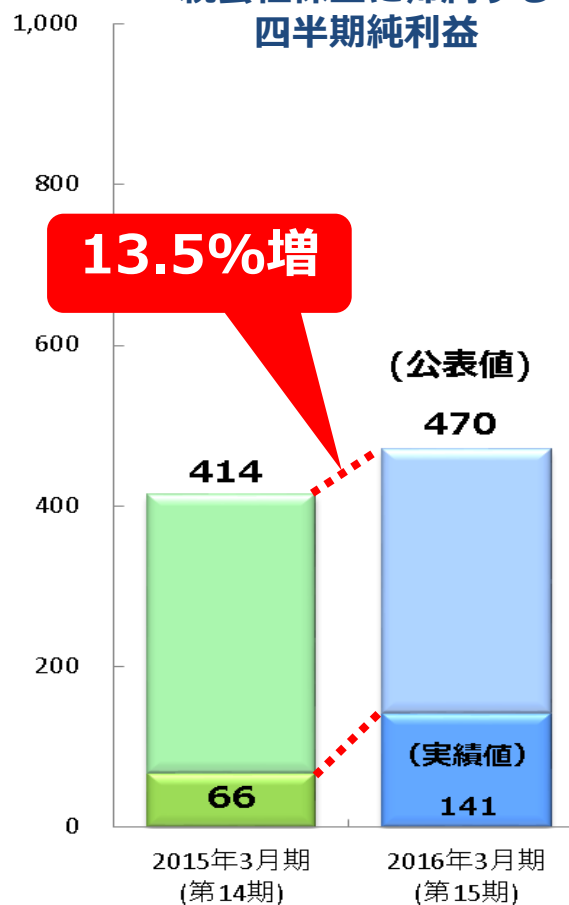
7.9%増



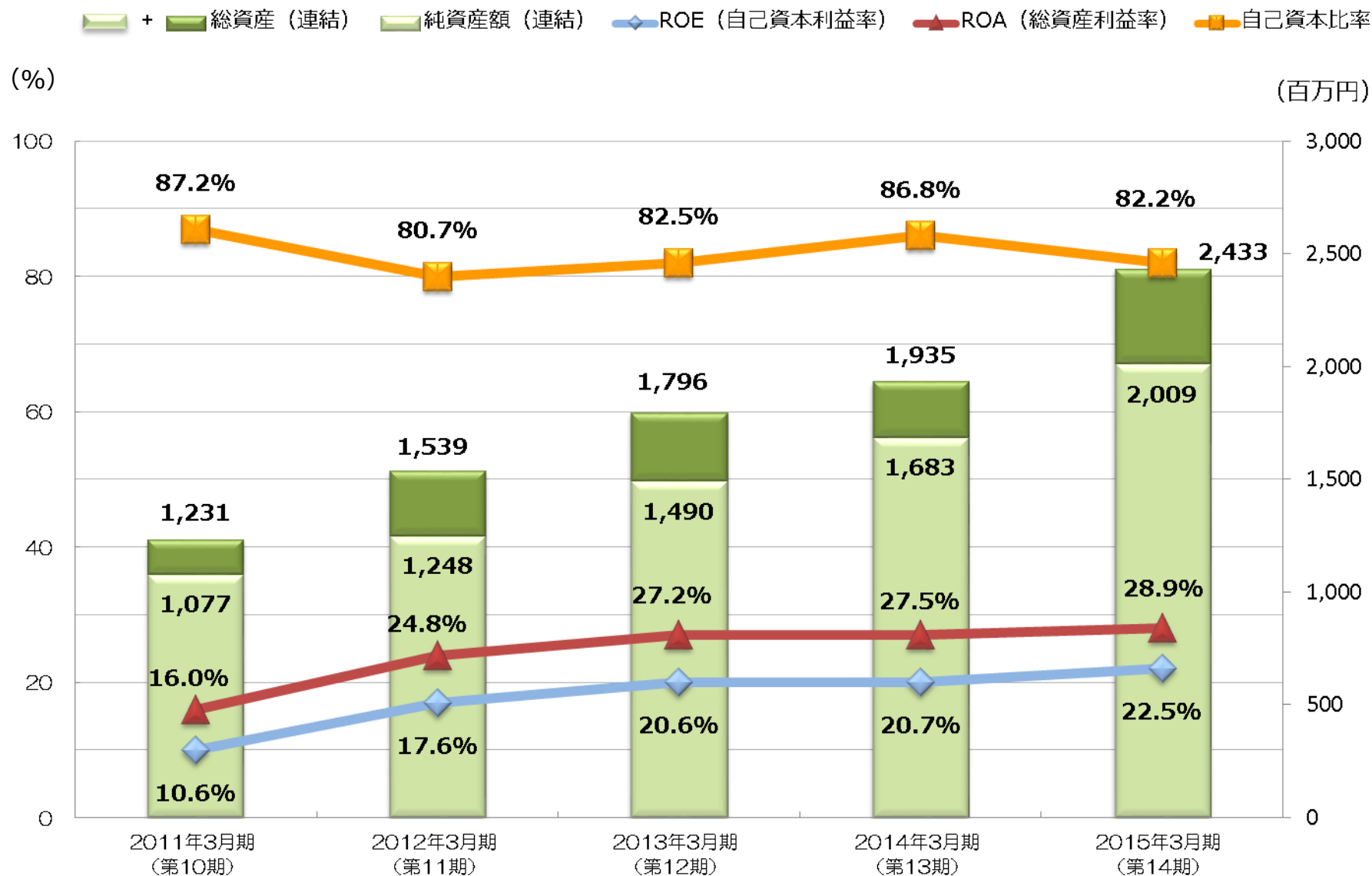
(百万円)

親会社株主に帰属する 四半期純利益

13.5%増



Ⅱ. 通期の資本状況（資産、ROE及びROA等）の推移



本資料お取扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ

管理部 06-6486-3955
management@ebase.co.jp